

しんしゅうこうしょうはこうようざんりょうえいじ
真宗興正派紅葉山了恵寺

| | |
|-----|----------------|
| 所在地 | 石狩市花川南2条5丁目165 |
| 宗派 | 真宗興正派 |
| 本尊 | 阿彌陀如来 |
| 創立 | 明治27(1894)年 |



了恵寺は、明治26（1893）年に香川県香川郡福岡村（現高松市）の本山立僧侶養成所精勤教校校長高木了玄師が北海道開教を本山より命ぜられ門弟と渡道し、明治27年に樽川南6線に草庵を設けたのが始まりです。了玄師は長男、法恵師を草庵に常駐させ、門弟と共に道内各地で布教し、二十数カ所の寺院を創始しています。

明治32（1899）年に現在地に移転し、明治43（1910）年寺号公称が認可され、開基了玄師と二世法恵師の各1字を取り「了恵寺」としました。

昭和37（1962）年に、樽川在住の農家のお母さん達の要請で、了恵寺付属南線保育所が作られ、同46年に町が運営するまで続けられました。農繁期のお母さん達にとっては安心して農業に励むことができました。

平成3（1989）年には百年記念事業として「為衆開法蔵」と名付けられた宝物館が建立され、法宝物を始め四世住職憲了師が収集した歴史資料や考古資料が保管され展示されています。なお、宝物館は一般の人も見学することができます。

境内には、平成3年に石狩市自然保護条例で指定された記念保護樹木「栗の二本木」、石狩町立南線小学校の門柱と奉安殿・花畔の元瑞穂神社拜殿を移設した開拓瑞穂堂、創田の碑など地域の歴史に関するものの他に、歌碑・句碑など数多くあります。また、桜の名所でもあります。

（三島照子）

※奉安殿とは、戦前の日本において、天皇と皇后の写真（御真影）と教育勅語を納めていた建物です。

- （1）紅葉山了恵寺百年記念誌編集委員会（1994）了恵寺百年誌。紅葉山了恵寺。
- （2）石狩町（1997）石狩町誌／下巻。石狩町。
- （3）石狩市郷土研究会石碑調査班（1988）石狩の碑／第2輯。石狩町郷土研究会。
- （4）鈴木トミエ（1996）石狩百話。石狩市。